

せとうち

1月号

平成29年(2017)

絆で創る, 魅力あふれる豊かな町づくり

みんなで早寝 早起き ラジオ体操 朝ごはん!

お餅を
ぺったん?

まだまだ杵は大きいね!
杵を持って写真撮影!



まちの人口と世帯 平成 28 年 11 月末日現在

人口
9,148人 (前月比 - 2)

人口 (男)
4,411人 (前月比 +3)

人口 (女)
4,737人 (前月比 - 5)

世帯数
5,229戸 (前月比 ±0)



新年



瀬戸内町長
鎌田 愛人

謹んで新春のお慶びを申し上げ
ます。

町民の皆様をはじめ全国各地で
ご活躍の皆様方におかれまして
は、心新たに新年をお迎えのこと
とお喜び申し上げます。

私が町民の皆様方からのあたた
かいご支持を賜り、町政を預から
せて頂いてから2回目の新年を迎
えることが出来ました。

これもひとえに、町民の皆様と
全国の郷友会の皆様、瀬戸内町に
関係するたくさんの方々のおかげ
であります。これからも感謝の気
持ちは忘れず、町の発展のため万
難を排し、努力を続けて参ります。

昨年10月には、関係各位のご支
援・ご協力により、町制施行60周
年記念式典及び祝賀会を盛大に開
催することができました。

また、12月には新造船「フェリー
かけろま」も就航し、加計呂麻島
の観光・農林水産業等の振興に弾
みがつくものと期待しています。

そして、今年（仮）古仁屋休
憩施設兼コミュニティー施設の本

格着工する予定となっており地域
振興に寄与できるものと考えてお
ります。

今後も平成27年度に策定した7
つの大きな構想からなる「瀬戸内
町創生実行計画」を推進していく
上で、皆様方のご支援・ご協力を
賜りますよう、お願い申し上げます。

結びになりますが、本年におき
ましても、私が唱えております、
「町民・全国の郷友会・役場職員」
が一体となった「チームせとうち」
を旗印に、「絆で創る、魅力あふ
れる豊かなまちづくり」「元気あ
るまちづくり」という基本理念を
継続し、町政運営に全身全霊で取
り組んで参ります。

新しい年が皆様方にとりまし
て、希望に満ちた幸多き年とな
りますよう心から祈念申し上げます、新
年の挨拶と致します。

みなで創る「チームせとうち」
を本年もよろしくお願ひ申し上げ
ます。



瀬戸内町議会議長
岡田 弘通

謹賀

新年おめでとうございます。

皆様には、御健勝で、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

私共の議会活動に対しましては、日頃よりご支援をいただき、衷心より深く感謝申し上げます。

昨年11月に執行されました議会議員選挙は、町制史上初めての無投票という結果になりました。このことについて町民皆様の意志等を踏まえ「魅力ある議会」に向けて取り組んでいきたいと強く思っているところであります。

わが国の経済状況は、私共、国境離島の地域にはまだまだ厳しいのが現状であります。

今後は国が掲げる「地方創生」を生かした、瀬戸内町まち・ひと・しごと創生による「瀬戸内町総合戦略」の諸々の施策実現に、町当局と議会、そして住民が一体となって取り組んでいかなければなりません。

また、奄美群島振興開発事業による奄美群島振興交付金の拡充と、群島民の格安航空路線の拡充、航路・航空路運賃や、農作物の輸送費等の軽減が更に図られるよう、地元の金

子万寿夫代議士、林健二県議と連携を図り、町当局と共に努力してまいります。

昨年は町制施行60周年の記念すべき年でありました。60年の町制と議会の歩みを振り返り、検証し、これからの瀬戸内町の発展のため、私共議会が一丸となって、議会の改革に取り組み、「議会の活性化」に努力してまいる所存であります。

また現在、奄美では世界自然遺産登録、そして町では陸上自衛隊配備計画が着実に進められており、我が町のまちづくりに追い風となっております。町行政と一体となつて、持続可能なまちづくりについて努力するとともに、議決機関としての確、かつ迅速な議会運営に努めてまいります。

どうぞ、本年も議会活動に対しまして、ご支援を賜りますようお願い致します。

結びに、本年が皆様にとりまして、実り多い年でありますようお願いいたします。新年の挨拶と致します。



瀬戸内町教育委員会教育長

上田 敏也

謹賀新年

町民の皆様は謹んで新年のお慶びを申し上げます。

新春を迎えるにあたり、瀬戸内町の一層の発展と子ども達の幸せを心から祈念いたします。また、本町教育行政推進に対しまして、町民の皆様の絶大なるご協力ご支援を賜り、衷心より御礼申し上げます。

昨年は、町民の皆様、全国の郷友会の皆様を迎え、瀬戸内町町制施行60周年記念式典・祝賀会が開催されました。

今日まで、郷土瀬戸内町を築いてきた先人たちに敬意を表しますとともに、受け継がれてきた豊かな自然や歴史、伝統、文化などを児童生徒へ伝え継承してまいります。

さて、年頭にあたりまして、本町の教育行政の取組状況についてご報告いたします。

本町の教育行政の基本目標であります、21世紀に生きる心豊かな「瀬戸内っ子」の育成を目指し、「未来に生きる確かな学力」、「生きる喜びを育む生涯学習」、「郷土の心を伝える文化活動」を重点とし、諸施策を推進してまいります。

学校教育の充実として、特に力

を入れているものに「学力向上」があります。

学力向上対策としては、これまでに以上に教職員の研修を充実させて「子どもが分かる授業」を確立することを第一に、町内の児童生徒全員の学力が向上するよう各学校で取り組んでいきます。

また、「知・徳・体」の調和のとれた児童・生徒の育成や心の教育の充実等に取り組んでまいります。

本町では、それぞれの学校で地域ぐるみの特色ある教育活動を展開しています。

体育面では、恵まれた自然と地理的環境を活かした体験学習として「遠泳大会」「大島海峡板付け舟横断」等で体力・気力を向上させ、自然の中で「たくましく生きる力」の育成を実践しています。

文化面では、個々に応じた指導の徹底、複式学級における指導法の研究、郷土文化体験学習、学習発表会・文化祭、本町で毎年開催しております中学校弁論・英語暗唱大会も益々充実しているところです。

世界に羽ばたく大きな夢を堂々と語り、その実現のために日々努

力する子どもを育成するためにも、プレ・ゴールデンエイジ事業、児童を対象とした夏休み水泳教室、満天クラブなど、生涯スポーツの充実に努めます。

社会教育の分野では、公民館講座や自主グループによる学習の充実、スポーツイベントを中心とした各種大会、いきいき健康クラブ等による健康増進活動、世界自然遺産登録に向けた環境教育や文化活動にも取り組んでいきます。

また、本町の最高学府である県立古仁屋高等学校については、ふるさと留学扶助費や各種補助金等、魅力ある施策を打ち出し、新入学生の確保、在校生の学力・資質向上に町民一丸となり、知恵を出し合いながら取り組んでまいりたいと思います。

教育委員会は、町民一人ひとりが、人間性豊かでたくましく活力に満ち、生き生きとした人生を送ることができるよう、教育風土の構築と充実を目指して、その推進を図ります。

町民の皆様におかれましても新しい年が希望に輝き、幸多い年でありますことを心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶いたします。

ようこそ！と、さようなら

＼ようこそ！／

Welcome! and Goodbye

＼さようなら、ありがとう！／

新造船3代目フェリーかけるま

2代目フェリーかけるま



11月15日に新造船の3代目フェリーかけるま竣工式が海の駅で行われ、12月1日に3代目フェリーかけるまが就航しました。

新造船はこれまでのフェリーの形式と異なる、船首と船尾にスクリューとランプウェイ（斜路）を装備した両頭船となり、車両の乗り入れが楽になりました。また、バリアフリーのトイレや車両甲板と客席をつなぐエレベーター、1階にシルバー室（15人）を設置して、高齢者に配慮した船を目指しました。

■総トン数 197トン ■全長 37.8メートル ■幅 8.8m ■旅客定員 140名

■積載車量 大型バス2台、乗用車4台 ■建造総額 約6億5千万円（町8割、国と県1割ずつ）

新造船の特徴



▲バリアフリーのトイレ



▲エレベーター



▲1階にあるシルバー室(15人)



▲2階の客室



▲2つある操舵機関



▲車が前進で乗船できる

世界遺産

「奄美・琉球」を世界自然遺産へ

Vol 24

「ウケジママルバネクワガタ」について

請島には「ウケジママルバネクワガタ」という種類のクワガタが生息しています。奄美大島と加計呂麻島には「アマミマルバネクワガタ」という仲間が生息していますが、この「ウケジママルバネクワガタ」は請島にしか生息しておらず、昨年度末より「国内希少野生動植物種」に追加され、保護体制が強化されました。

奄美では近年、このような貴重な動植物の盗採掘が相次いでいます。私たちみんなの目で守っていきましょう。

ウケジママルバネクワガタは、
捕獲や譲渡しが「種の保存法」で
禁止されています

獲ってほなナ、売ってほなナ



違反した場合、5年以下の懲役または50万円以下の罰金が科せられます。違反者を見つけたら警察署または環境省まで連絡してください。

種の保存法に関する問い合わせは、環境省奄美野生生物保護センター(電話0997-55-8620)、漁業者の連絡は10番または瀬戸内警務署(電話0997-72-0110)まで。
請島の六山への入山には、良好な自然環境を保全するため、「瀬戸内町指定地域の入山申請」に関する規則に基づき、事前の入山手続と指定地域管理人の同伴義務付けがあります。条例に関するお問い合わせは、瀬戸内町立図書館・郷土館(電話0997-72-1600)まで。

手当支給

特別障害者手当と
障害児福祉手当が支給されます

■目的

重度の障害者又は障害児に対して、その障害により必要となる特別の負担の軽減を図るため手当が支給されます。

■支給要件

精神又は身体に重度の障害を有するため、日常生活において常時の介護を必要とする状態にある在宅の20歳以上(障害児福祉手当は20歳未満)の者に支給されます。

■支給月額

特別障害者手当	2万6830円
障害児福祉手当	1万4600円

■支払時期

原則として毎年2月、5月、8月、11月にそれぞれの前月分までが支給されます。

■所得制限

受給者若しくはその配偶者、または扶養義務者の前年の所得が一定の額以上であるときは、手当は支給されません。

健康推進

推進員になって、私たちと一緒に
健康づくり活動をしませんか？

平成28年度 推進員養成講座のご案内
瀬戸内町では現在、『食生活改善推進員』『健康づくり推進員』の2つの推進員が地域で健康づくり活動を行っています。

自分や家族、身の周りの大切な方たちのために、健康について学んだり、実践したり、お手伝いしたり、楽しく健康づくり活動に参加してみませんか？
推進員の養成講座を左記の日程で行います。たくさんの方のお申込みをお待ちしています。

■日時

- 1回目 平成29年2月3日(金)
- 2回目 平成29年2月10日(金)
- 3回目 平成29年2月17日(金)
- 時間 午前9時30分～11時30分

■場所

すこやか福祉センター

健康づくりの課題と生活習慣病
栄養の基礎知識
健康づくりと身体活動

瀬戸内町の母子保健の現状

推進員の地区組織活動 など

■お申込み 1月27日(金)までにお電話にてお申し込みください。

保健福祉課 保健予防係

72-1122 保健師まで



■お問い合わせ

瀬戸内町立図書館・郷土館
世界自然遺産せとうち町推進室

☎0997-72-3799
☎0997-72-1600

■お問い合わせ

保健福祉課 保健予防係 ☎0997-72-1122

■お問い合わせ 工業技術センター奄美市駐在 ☎0997-52-0068
工業技術センター庶務部 ☎0995-43-5111

物品売却

鹿児島県工業技術センター奄美市駐在の物品売却のお知らせ

鹿児島県では、工業技術センター奄美市駐在（旧大島紬技術指導センター）が所有する物品を、一般競争入札により売却します。入札には、原則としてどなたでも参加できますので、購入を希望される方は、ぜひご参加ください。

■入札の日時・場所

日時 平成29年1月17日（火） 午前10時

場所 工業技術センター奄美市駐在（奄美市名瀬浦上町48番地1）

■売却する物品

大島紬の試験・研究・開発等に使用していた機器類

※搬出に要する経費は、全て落札者の負担となります。なお、搬出の日時については、工業技術センター奄美市駐在と事前に協議してください。

■売却する物品の公開

日時 平成28年12月1日（木）から入札の日の前日まで

場所 工業技術センター奄美市駐在（奄美市名瀬浦上町48番地1）

※見学される方は、必ず事前に工業技術センター奄美市駐在までご連絡ください。

■入札時に持参するもの

①現金（落札時に購入代金の全額を現金で即納していただくことが条件です。）②印鑑③筆記用具等

■その他

売却物品の一覧及び入札の詳細は、県ホームページ（工業技術センター奄美入札）で検索及び役場の掲示板でご確認いただくか、霧島市の工業技術センター庶務部までご連絡ください。机、いす、キャビネット等の事務用品類についても、1月中に入札を行う予定です。詳細が決まり次第、県ホームページ等によりお知らせします。

健診案内

～なあみぬ健康や わあきや島ぬ宝だりよっど！～（あなたの健康は瀬戸内町の宝です！）

今年度、最後の特定健診・長寿健診です！！

7月・11月に特定健診・長寿健診を受診されていない方が対象です。

【日時】 平成29年1月18日（水）～1月20日（金）受付：8時00分～10時00分

【場所】 すこやか福祉センター（旧社会福祉協議会事務所）

※1階で実施するため、階段はありません！！

※医療機関で受診希望の方は3月末まで実施いたします。事前に予約して受診してください。

※定期的に病院受診されている方は、役場へ採血データ等の情報を提供してください。



みんなで守ろう、みんなの健康、みんなの医療費

お問い合わせ：役場保健福祉課 保健予防係 ☎72-1122まで

■お問い合わせ 瀬戸内町立図書館・郷土館 ☎0997-72-3799

休館日

町立図書館・郷土館から
休館のお知らせ

瀬戸内町立図書館・郷土館から特別資料整理に伴う休館のお知らせをします。

年に1回、蔵書を点検することにより、不明図書・修理図書等の確認、書架の見直しを行い、利用サービスの向上をはかるものです。

期間中は、移動図書館も休みます。相互貸借やレファレンス等の業務も行いませんので、ご了承ください。

■特別資料整理休館

平成29年1月30日（月）から平成29年2月6日（月）まで

■その他

休館中の返却は、図書館の玄関横、役場1階ロビー、海の駅の返却ポストをご利用ください。

■お問い合わせ 鹿児島障害者職業能力開発校 ☎0996-44-2206

入校募集

平成29年度 鹿児島障害者職業能力開発校
入校生募集

鹿児島障害者職業能力開発校は、職業能力開発促進法に基づき、障害をお持ちの方々に対して職業人としての自立を支援するため、各種の職業訓練を実施しており、平成29年度の入校生を左記のとおり募集します。

■募集期間

- ① D日程 平成28年12月19日(月)～平成29年1月19日(木)まで
- ② E日程 平成29年2月6日(月)～平成29年3月3日(金)まで

■試験日

- ① D日程 平成29年2月3日(金)
- ② E日程 平成29年3月16日(木)

■募集科目

情報電子化、デザイン製版科、建築設計科、OA事務科
アパレル科、造形実務科

■応募資格

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳
保持者(手帳のない方はご相談ください)
※平成29年3月卒業予定の方も応募可能です。

■入校料・授業料 無料

※その他詳細は、鹿児島障害者職業能力開発校または最寄りの公共職業安定所にお問い合わせください。

■お問い合わせ 鹿児島県立宮之城高等技術専門校 ☎0996-53-0207

入校募集

平成29年度 県立宮之城高等技術
専門校入校生募集

職業能力開発促進法に基づいて、県が設置している職業能力開発施設、県立宮之城高等技術専門校の入校生を左記のとおり募集します。

■訓練科目

木工・建築大工の技術技能の習得を目的とした入校生を募集します。
建築工学科・室内造形科

■募集期間 現在募集中

平成29年1月13日(金)まで(C日程)
※C日程終了後は、D・E日程を実施する予定です。

■応募資格

E日程募集締切平成29年3月3日(金)まで
建築工学科(高卒程度以上。平成29年3月に高等学校卒業見込みの者を含む)
室内造形科(義務教育終了程度以上。平成29年3月に高等学校又は中学校を卒業見込みの者を含む)

■選考日 平成29年1月27日(金)

■選考場所 県立宮之城高等技術専門校

■選考方法 筆記試験(総合問題)、面接

■合格発表 平成29年2月6日(月)

※応募書類は、県内各高等学校、公共職業安定所、県地域振興局窓口、市町村本所支所(雇用労政担当)窓口にあります。詳しくは、当校募集案内・ホームページをご覧ください。

開催案内

平成28年度 脳卒中予防フォーラムのご案内

平成28年度脳卒中予防フォーラム～脳卒中で寝たきりにならないために～を開催します。

■場所 奄美市文化センター(奄美市名瀬長浜町517番地)

■日時 平成29年1月29日(日) 受付12時30分～13時30分、フォーラム13時30分～16時

オープニング 情報提供「名瀬保健所管内における脳卒中の現状」

講演「脳卒中とドクターヘリ～期待される治療効果～」

講師 鹿児島県立大島病院脳神経外科部長 東 拓一郎 先生

講演「脳卒中をどこでくい止めるか～よりよく生活するために～」

講師：鹿児島医療センター脳・血管内科医長/脳卒中センター長 松岡 秀樹 先生

■お問い合わせ 大島支庁保健福祉環境部(名瀬保健所)健康企画課 ☎0997-52-5411



入場無料



■お問い合わせ 奄美大島年金事務所 ☎0997-52-4341

20歳年金

年金コーナー

年金キャラクター
「もくもく」



新成人の皆さんへ
〜20歳になったら国民年金〜

国民年金は、年をとったときやいざというときの生活を、現役世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。

■将来の大きな支えになります

国民年金は20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納める制度です。国が責任をもって運営するため、安定していますし、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

■老後のためだけのものではありません

国民年金には、年をとったときの老齢年金のほか障害年金や遺族年金もあります。障害年金は、病気や事故で障害が残ったときに受け取れます。また遺族年金は、加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族（「子のある配偶者」や「子」）が受け取れます。

■「学生納付特例制度」

学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。対象となる学生は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校（修業年限1年以上である課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

■「納付猶予制度」

学生ではない50歳未満の方で、ご本人及び配偶者の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

■お問い合わせ 財産管理課 管財係 ☎0997-72-1196

指名受付

平成29年度 物品等に係る指名
競争入札参加資格審査申請の受付

瀬戸内町が発注する物品の購入等に係る競争入札に参加するためには、あらかじめ申請し入札参加資格を取得する必要があります。（法人・個人を問いません）入札参加資格の審査を受けようとする方は、左記の方法で申請してください。

■受付期間

平成29年2月1日（水）〜随時受付

■受付時間

午前8時30分〜午後5時15分
（午後0時〜午後1時は除く）

■受付場所

財産管理課 管財係

■申請方法

町HP（ホームページ）から申請様式をダウンロードするか財産管理課管財係で申請様式を直接受け取ってください。

※町HPへの申請様式の掲載は、平成29年1月中旬頃に行います。

■資格登録期間

【町内】

平成30年3月31日まで（平成29年度）

【町外】

平成31年3月31日まで（平成29・30年度）

歯周健診

平成28年度 歯周疾患健診のお知らせ

平成28年度中に40歳・50歳・60歳・70歳になる節目の方（昭和51年生・41年生・31年生・21年生）を対象にハガキを送付しています。

■期間 平成29年2月28日（火）まで

■場所 町内歯科医院（登山歯科・ア歯科・町田歯科・せき歯科・かけろま薄井歯科）

■金額 無料

■お問い合わせ 保健福祉課 保健予防係 ☎0997-72-1122（直通）



融資・保証

奄美群島開発基金からのお知らせ

奄美群島開発基金は、奄美群島の産業振興を図るため、融資業務・保証業務により事業者の方々への事業資金の円滑な供給に努めています。お気軽にご相談ください。
 ※保証業務とは、事業者の方々が金融機関から借り入れを行う際に、奄美基金が信用保証を行うことで円滑な資金供給を支援する制度です。（詳細については奄美基金各金融機関、各商工会等へお問い合わせください。）

■融資の種類

農地購入、果樹植栽、家畜購入、中古船取得、農林水産物の流通加工、観光関連産業、地域活性化、地域資源振興など

■融資利率（平成28年11月17日現在）
 年0.08%～年2.71%

■融資期間 最高20年

■お問い合わせ窓口

独立行政法人 奄美群島開発基金 本部
 〒894-0026 奄美市名瀬港町1-5
 Eメール kikin@amami.go.jp
 Eメールからも相談を受け付けています。

がん治療

陽子線によるがん治療

■鹿児島県における「がん」対策
 本県における死亡原因の第1位は、全国同様「がん」であり、がん対策が喫緊の課題となっています。
 県では、平成25年3月に策定した「鹿児島県がん対策推進計画」に基づき、がん予防の普及啓発、早期発見体制の充実やがん診療連携拠点病院の整備など、総合的ながん対策を推進しているところです。

■陽子線治療

メデイポリス国際陽子線治療センターにおいては、副作用の少ない陽子線を用いたがん治療を平成23年4月から行っており、固形がんである前立腺、肺、肝臓、膵臓等のがんについて、既に1900件を超える治療実績があります。

■陽子線治療の助成制度

県においては、県民が陽子線治療を受けやすい環境を整備するため、治療費を金融機関から借り受けた患者やその家族等に対して利子の一部を助成する制度があります。
 詳しくは、県のホームページをご覧ください。

運行開始

奄美ドクターヘリの運行が開始されます

平成28年12月27日から奄美ドクターヘリの運行が開始されます。
 「ドクターヘリ」とは、緊急医療に必要な機器や衣料品などを装備した救急医療専用のヘリコプターです。医師や看護師が搭乗し、離着陸場所（ランデブーポイント）から医療機関に搬送するまでの間、患者に救急医療を行うことができます。

■町内の離着陸場所（ランデブーポイント）

- ①古仁屋小学校②古仁屋中学校③古仁屋高校④緑地公園（古仁屋漁港）⑤古仁屋漁港野積場用地1⑥海上自衛隊奄美基地分遣隊⑦古仁屋漁港野積場用地2⑧手安ヘリポート⑨清水公園運動競技場⑩ホノシ海岸広場⑪油井小中学校⑫篠川小中学校⑬久慈中学校⑭久慈港⑮旧管鈍小中学校⑯西古見港⑰旧イケ下棧橋⑱瀬相港（加計呂麻島）⑲秋徳小中学校（加計呂麻島）⑳伊子茂港（加計呂麻島）㉑三浦ヘリポート（加計呂麻島）㉒請阿室港（請島）㉓請島ヘリポート（請島）㉔与路ヘリポート（与路島）

■申請中の離着陸場所

- ①与路小中学校②与路港③池地港④生間港

■運航主体 県立大島病院

■運航範囲 奄美地域及び十島村

■運航時間 午前8時30分から日没まで

※視界不良の時など、出動できない場合があります。

■出動要請方法 消防機関などが必要に応じて、県立大島病院へ要請します。

※住民の皆様が直接要請することはできません。

■お問い合わせ 保健福祉課 保健予防係 ☎0997-72-1068

8020運動

平成28年度「8020運動」表彰者

8020（ハチマルニイマル）運動とは、平成元年より厚生省（当時）と日本歯科医師会が推進している「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。20本以上の歯があれば、食生活にほぼ満足することができると言われています。瀬戸内町では、左記8名の方が表彰されました。おめでとうございます！

【表彰者】	【年齢】	【歯本数】
加納 池臣	(85)	22本
宮之原 常輝	(82)	27本
禰 安子	(82)	23本
沖島 ヒロ子	(80)	23本
沖島 島藏	(81)	22本
川井 義美	(82)	24本
東 ミチエ	(84)	26本
井介 朝子	(84)	26本

(敬称略)

■お問い合わせ 町民生活課 ☎0997-72-1060

一時預り

町民生活課から一時預かり「ママ・サポ・スマイル」のお知らせ

急な用事の時、子どもの預け先に困った事、ありませんか!? 「ママ・サポ・スマイル」では、海の駅2階にて6カ月から6才までのお子様を一時預かりしています。



■営業日 月曜日～金曜日

■営業時間 9時～17時

■定休日 土・日・祝（※今後準備が整い次第、土曜日、祝日もオープン予定です）

■料金 1時間500円

※初回のみ保険代含む1500円が別途必要です。また、お得な回数券もあります。

■一時預かりの相談・お問い合わせ

「ママ・サポ・スマイル」専用連絡先

☎080-8582-5578

特別な事情があり、1週間や1カ月利用したい場合もお気軽にご相談ください。

■運営

瀬戸内町子ども一時預かり推進協議会

宝くじ事業

トランポリンを購入しました

宝くじの社会貢献広報事業である、コミュニティ助成事業を活用して、清水体育館に「トランポリン」を購入しました。

今後、少年の体力及び技術の向上と意識・知識の向上を図ることを目的とする、2016年度スポーツ指導者派遣事業等で「トランポリン」を活用して行く予定です。

また、「トランポリン」の使用を希望する団体等がいらっしゃいましたら、上記の社会教育課生涯学習係へお問い合わせください。



▲トランポリンの使用風景



▲購入したトランポリン





2016 町制施行 60 周年記念

加計呂麻島ハーフマラソン

～あったかい応援と、海に見守られて～

加計呂麻島ハーフマラソンが、11月13日(日)に開催されました。今年も、カンボジア国籍でリオオリンピックのマラソンに出場した、猫ひろしさんによるトークショーも合わせて開催され、全国各地から参加した626名が加計呂麻島を快走しました。

コースの沿道に駆け付けてくれた皆様からの「がんばって」という掛け声やチヂンを鳴らしながらの応援は、選手たちに元気と力を与えてくれました。

また、給水や警備など多くの方のボランティアが選手を支えてくれました。ご協力ありがとうございました！



給水のおもてなし



あったかい応援



チヂンでの応援



救護班も大会をサポート



屋台で選手をサポート



猫ひろしさんが来てくれました！



北海道から3人の参加者が！

晴天に恵まれた開催日。北海道から参加した選手からは、経験した事のない暑さとの声も。この時期の北海道は-5℃だそうです！！

11月6日(日) 青年団の活気あふれる



敬老会 十五夜祭・敬老会が開催されました

今年25歳になる若者が主に参加する古仁屋青年団主催による十五夜祭・敬老会が大湊緑地公園で開催されました。

青年団の振り出しで始まった祭りは、高丘保育所の保育児による元気な踊りや相撲大会、青年団と地女連による力飯、相撲甚句などが披露され、最後は8月踊りで締めくくられました。

来場した朝原紀久(66)さんは「活気があつてよかった。これからも続けてほしい」と笑顔で語ってくれました。

11月3日(木) 図書館の仕事を体験しました♪



秋の読書フェアで西阿室小の薄井君が1日図書館長に

図書館貸出数上位の西阿室小学校2年生薄井波音君が秋の読書フェアの一環で1日図書館長に任命されました。

重村館長から館長の仕事の説明を一通り受けた後、館内パトロールに出発して図書館の施設を隅々まで巡りました。

また、図書館の整理業務やカウンターでの貸出業務を体験しました。

薄井君は「カウンター業務が楽しかった」と笑顔で語ってくれました。

11月8日(火) 元気な声、響く



子どもたちと火の用心! 市街地を巡りました

火災予防の啓発と火災の発生を防止することを目的に行われる、秋の全国火災予防運動がありました。

本町では瀬戸内消防分署、消防団、町内の保育所や幼稚園の子どもたちが市街地を巡りながら、火の用心の呼びかけを行いました。

拍子木と子どもたちの「火の用心!」という元気な掛け声に誘われて駆け付けた住民からは、笑顔があふれていました。

11月8日(火) ラジオで奄美が紹介されます



ギニア共和国出身のタレントサンコンさんが来庁しました

ギニア共和国出身のタレント、オスマン・サンコンさんが来庁しました。東京のラジオ局で奄美の事を紹介する番組を放送予定で、実際に奄美を体験しようとしたそうです。

クロマグロや真珠などの特産品や加計呂麻島や請島、与路島の観光スポットなどの話をしながら、サンコンさんは「いろいろな話がありますね。どんどんラジオで話して、奄美大島に行ってみようという人を増やしたい」と笑顔で語っていました。

11月15日(火)～11月25日(金) 命を救う



奄美ドクタヘリの町内た

奄美ドクターヘリの町内初訓練が本島、加計呂麻島、請島と与路島で行われました。25日の請島、与路島訓練では住民も参加し、ヘリに近付く場合の注意事項や患者を搬送する手順を奄美ドクターヘリチームの操縦士や整備士、医師から説明を受けました。

参加した池地集落の勝鉄弘さんは「命にかかわることなので、学んだ事を復習していざという時に備えたい」と力強く語ってくれました。

11月9日(水) まちを守る



瀬戸内警察署と暴力団排除協定を締結

瀬戸内町と瀬戸内警察署は、町の契約、入札、備品購入などから暴力団関係者を排除する協定を締結しました。

暴力団排除協定は、東日本大震災復興事業へ暴力団が介入する事例もあり、全国的に協定締結が行われています。

今回瀬戸内町が締結することにより、群島全市町村で暴力団排除協定が結ばれました。

締結により、警察署からの情報提供手続きが迅速に行なわれます。

11月19日(土) 世界自然遺産登録を目指して



世界自然遺産と奄美諸島の植物に関する講演が開催されました

琉球大学理学部教授の横田昌嗣氏を講師に迎え、「世界自然遺産と奄美諸島の植物」と題した講演会が清水公園総合体育館で開催されました。

講演では、「奄美と琉球は大陸と繋がったり、離れたりしながら多様な種が生息している。他の世界自然遺産の島でもこのような島は少ない」と奄美琉球の島々に生息しているマツバオタンなどの遺伝子の違いを用いながら、奄美琉球に生息する固有種の希少性を説明しました。

11月15日(火) 奄美・琉球の自然とくらしを知る



町制60周年記念企画展「奄美群島の自然とくらし」が開催されました

町制60周年を記念して琉球大学と町立図書館・郷土館共同による企画展が開催されました。

郷土館には、期間限定で琉球大学所蔵のイリオモテヤマネコのタイプ標本や昆虫の標本などの自然に関する資料が展示されました。

また、藁を編んで村にある家の戸数を表した藁算と呼ばれるものや奄美と琉球王朝に関する書物や地図など暮らしや歴史に関連する様々な資料が展示されました。

11月20日(日) 心に響く文化祭



第40回 瀬戸内町文化祭が開催されました

清水公園総合体育館にて開催された文化祭は、古仁屋中学校吹奏楽部の演奏で幕開けし、島唄や8月踊りなどの伝統芸能や日本舞踊、社交ダンス、フラダンスなどの踊り、コーラスやピアノ演奏などの音楽関係の発表などバラエティに富んだ舞台発表が行われました。

展示発表では、生花や習字、絵、盆栽、陶器など多種多様な作品が展示されており、来場者は熱心に見入っていました。

11月19日(土) シマの未来を語る



町制施行60周年記念 シマの未来を語る

本町芝集落出身で元日本経済大学大学院教授の叶芳和さんによる、「新しい瀬戸内町の地方創生〜シビックプライドを高めよう」と題した基調講演が行われました。

また、叶さんをコーディネーターに東京瀬戸内会幹事長山田幸一郎さん、中部瀬戸内会幹事長盛岡雅己さん、関西瀬戸内会幹事長盛島和郎さん、中村企画課長による、「地方創生とシマの未来について」のパネルディスカッションが行われました。

11月29日(火) ありがとうございます



瀬戸内町石油組合からフェリーかけるろまにAEDが寄贈されました

12月1日から運行を開始した、新造船の3代目フェリーかけるろまに、瀬戸内町石油組合(町内10社)からAEDが寄贈されました。

石油組合代表の豊雅喜(40)さんは、「以前から組合の中でお世話になっている町民に恩返しをしたと考えていた。フェリーが新しくなる際に、何かできないか。もしもの時のお役に立てればと思い、AEDを寄贈しました」と力強く語ってくれました。

11月23日(水) 野鳥観察♪



世界自然遺産子ども博士号講座が開催されました

今回の世界自然遺産子ども博士号講座は、野鳥観察。渡り鳥の重要な中継地「水田」が今も残る加計呂麻島の諸鈍集落へ向かいました。

奄美野鳥の会の清正斉先生を講師に、諸鈍集落を歩きながらチュウサギやサンバなど24種類の野鳥を観察することができました。

望遠鏡やカメラで美しい羽を持つ野鳥や勇ましい野鳥を見るたびに、子どもたちからは歓声があがっていました。



古高たより

自主自立 敬愛和協 明朗端正 勤勉誠実

鹿児島県立古仁屋高等学校
〒894-1508
鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋 399 番地 1
[TEL]0997-72-0034 [FAX]0997-72-0057
<http://koniya.edu.pref.kagoshima.jp/>

企業見学・郷土研修(1年生)

近畿大学水産研修所奄美実験場



・奄美大島開運酒造

11月15日(火)に瀬戸内町花天と宇検村湯湾を訪れ、見学や研修を行いました。生徒たちはマグロ養殖の迫力や音響熟成での黒糖焼酎作りに触れ、驚きや感激の表情を浮かべていました。普段はできない体験を通して、郷土奄美の魅力を知る良い機会となりました。



大島紬に関する体験学習



(1年生)

12月6日(火)に本場奄美大島紬協同組合青年部の御協力のもと、校内で大島紬の歴史や製法などについての学習と着付け体験を行いました。ほとんどの生徒が大島紬を着るのは初めてだったので、とても喜んでいました。奄美の伝統文化のすばらしさを体感することができた良い時間となりました。

生徒からは、「かわいい柄の紬を着ることができて嬉しかった」、「意外と軽かった」、「普段のように歩くのが難しかった」などの感想がありました。



修学旅行(2年生)



12月6日(火)～9日(金)に3泊4日の日程で修学旅行を行いました。行先は奈良・京都・大阪で、日本の歴史や文化に触れたり、京都市内で自主研修をしたり、USJで楽しく過ごすなど、新しい体験をすることができました。仲間と共に多くのことを学び、高校生活での最高の思い出のひとつとなりました。



受賞者

南日本新聞社主催 第16回
「新聞」感想文コンクール

入選 2年 亀澤 光 君
題名「誰かのために生きる」



天皇の生前退位についての新聞記事を読んで、天皇のお気持ちや、あまり知られていない御公務のことを知り、自分の考えを書きました。



戸籍の窓

「お誕生」、「ご結婚」、「おくやみ」は11月に届けられた分のうち、希望者のみを掲載しています。(敬称略)



お誕生おめでとう

【名前】 栄 杏磨きょうま
 【保護者】 陽太
 【住所】 嘉鉄



ご結婚おめでとう

【名前】 澤山 秀樹
 【本籍】 大和村

【名前】 廣田 里華
 【本籍】 奄美市

【名前】 三浦 敏治
 【本籍】 三浦
 【住所】 神奈川県 神奈川

【名前】 三角 尚慶
 【本籍】 福岡県 福岡
 【住所】 油井

【名前】 川上 俊智
 【住所】 五千円 兵庫

【名前】 沖 秀広
 【住所】 一万円 大阪府

【名前】 栄 利秋
 【住所】 一万円 奈良県

【名前】 匿名
 【住所】 五千円 大阪府

ご寄付ありがとうございます。

広報紙郵送料



おくやみ申し上げます

【名前】	【年齢】	【本籍】
泉 久江	82	奄美市
元 スマ子	71	嘉徳
前平 美佐江	88	西古見
里 一三	61	西古見
嘉野 吉太郎	91	古仁屋
泉 タツエ	87	伊須
中島 原寛	87	古仁屋
信谷 勝義	78	於齊
豊 博基	82	古仁屋

平成28年11月分
 香典返しとして社協へ

【遺族】	【故人】	【住所】
前平 彰信	美佐江	西古見
泉 和元	タツエ	伊須
嘉野 文広	吉太郎	瀬久井

総合計金3万5千円也

広告

水のトラブルすぐに解決！

瀬戸内町指定水道工事店

- ◆給・排水設備施工、維持管理 ◆浄化槽工事(水洗トイレ)
- ◆排水管内視鏡カメラ調査、高圧洗浄 ◆貯水槽清掃
- ◆引っ越し清掃 ◆ハウスクリーニング ◆エアコン洗浄

(有) 瀬戸内ビルシステム
 瀬久井 090-2515-5928

司法書士による法律相談会(無料)のご案内

【相談日時及び場所】

- ①瀬相公民館 1月14日(土) 午前8時30分～午後2時
- ②船津団地集会所 1月19日(木) 午前10時～午後1時

※本相談会での直接受託は原則行いません。

正式な依頼に至った段階で、費用が発生します。

【お問い合わせ先】主催：瀬戸内町商工会青年部
 TEL 0997-72-0147 (担当：梶ヶ山)

私たちが提供する
 大切な方の事を考える大切な時間

家族葬

経済的ご負担が軽くてすむ
 「家族葬」を提案いたします。
 24時間受付・ご相談下さい。

共同納骨堂

- 管理費(年間) 15,000円～35,000円
 - いつでもお参りができます。
- 場所：瀬久井

自然環境の悪い今日
 高い所のお墓やお墓参りの
 困難な方々のために
 ご先祖様のお骨の管理を
 当社がお引受け致します。

早川福祉葬祭 72-4000・4444

快適な衛生環境をサポート

- ・し尿汲み取り・浄化槽清掃管理
- ・トイレ・風呂・台所・洗面のツマリ等

(有) 瀬戸内清掃

代表取締役 牧 学



家庭ゴミ・事業所ゴミ・各粗大ゴミ

収集運搬

1袋からタンク・ベッドその他まで

お気軽にお電話下さい



事務所 ☎ 72-3973 ☎ 72-3714 ☎ 72-0754

まちの未来を語らん場 | 若者たちで「まち」への想いを語る

「始めたきっかけはシンプルにまちを盛り上げたいという思いです」そう語るのは、まちの未来を語らん場を主催する渡太郎さん。青年団や商工会、漁業、林業、農業、建設業など様々な業種に携わる若い人や高校生たちが、まちの未来について真剣に語る会「まちの未来を語らん場」。

その2回目が10月28日に開催され、瀬戸内町の「まち・ひと・しごと総合戦略」に関して議論したり、「町議会議員選挙の立候補予定者に若者の想いを伝えたい」と様々な立場の若者たちが質問を考えていました。

「まちをつくるには、1人だけではできない。一人ひとり町に住むみんなの力が必要。その中でも、できるだけ若い人たちがまちづくりに参加するきっかけづくりをしていきたい」と力強く語る渡さん。

「語らん場をやっていく中で、まちへの未来を思っているたくさんの若い人がいることを知ることができた。これからも、多くの若い人達とまちの未来を語っていきたい」そう語る渡さんの眼差しは、希望にあふれていました。



▲第2回まちの「未来」を語らん場の様子



▲渡太郎さん(右)と古仁屋高校生(中央、左)

俵中学校の文化祭 | 食育で島を知る

「子どもたちが島の食材や食文化に触れることで、命の大切さを知るきっかけになれば」と語るのは、俵中学校の前原教頭先生。食育授業1回目は、島の食材を生かした料理を学ぶ伝承料理教室、2回目は「いもづるのきんぴら」など俵集落で昔から食べられていたものを学ぶ料理教室、そして10月30日に開催された3回目のテーマは「みんなでごはんを食べること」。俵集落の住民と加計呂麻園の久永さんと矢谷さんと一緒になって料理を作りました。島の食材を残さず使って完成した料理は、集落の公民館で同時開催された文化祭で住民と一緒にいただきました。文化祭では、生徒の研究発表やゲストのK@ITOさんによるマジックなども披露され、集落と先生、生徒みんなの絆で作上げる文化祭は笑顔であふれていました。



▲島のパパイヤ



▲料理の様子



▲3名の生徒と一緒に料理



▲集落の皆さんと文化祭



▲文化祭ゲストのパフォーマー K@ITO さん



▲完成した料理。かぼちゃの種まで使いました！

発行：瀬戸内町役場 編集：企画課 (0997) -72-1112 (直通)
〒894-1591 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津23番地

瀬戸内町公式ホームページ <https://www.town.setouchi.lg.jp>
瀬戸内町特産品販売組合「ゆりどり」 <http://www.yuridoro.com>

